(略称)インテルサット特権免除議定書

Ŧī.	四	Ξ	_	章		文								
条	条	条	条		条		目							
通	財政及び	裁判権な	文書ので	インテルサ	用		次							
信	財政及び関税に関する規定	#からの免除及び強制執行の免除六四三	文書の不可侵	サットの財産及び業務六四三	語		ベージ	昭和五十六年 九 月 十六 日 我が国について効力発生務省告示第三一一号)(条約第十七号及び外	昭和五十六年 八 月二十一日 公布及び告示	昭和五十六年 八 月 十七 日 加入書の寄託	昭和五十六年 七 月 十 日 加入の閣議決定	昭和五十六年 五 月二十九日 国会承認	昭和五十五年 十 月 九 日 効力発生	昭和五十三年 五 月 十九 日 ワシントンで作成

第 一

第二条

第

第 第三

第

インテルサット特権免除議定書

前

末 文
第十八条 通告及び登録
第十七条 有効期間及び廃棄六五六
第十六条 効 力 発 生
第十五条 留 保
第十四条 署名、批准、加入等 六五四
第 六 章 最終 規 定
第十三条 紛争の解決
第十二条 補足取決め
第十一条 締約国との協力
第十条 予防措置
第五章 一般規定
第 九 条 特権及び免除の放棄六五二
第四章 放 棄
仲裁手続に参加する者の特権及び免除 六五○
第 八 条 インテルサット加盟国の代表、署名当事者の代表及び
第 三 章 インテルサット加盟国の代表署名当事者の代表及び仲裁手続に参加する者 六五〇
第 七 条 インテルサットの職員の特権及び免除
第 二 章 インテルテットの職員
第六条制 限

前文

規定していることを考慮し、 に所在する締約国を含む。 五. 条Cが、同協定の各締約国(インテルサ この議定書 国際電気通信衛星機構 (インテルサット ヮ 締約国は)は適当な特権及び免除を与えると ットの本部が領域内 に関する協定第十

五条にが同協定の締約国(インテルサッ じたことを考慮し、 在する締約国を除く。 こと及び本部協定が千九百七十六年十一月二十四日に効力を生 インテルサットがアメリカ合衆国政府と本部協定を締結した 国際電気通信衛星機構(インテルサット)による特権及び免除に関 ١ の本部が領域内に所 に関 する議定書 する協定第十 の

て、 ٢ . の この議定書に規定する特権及び免除の目的は、インテルサ 任務の 能率的な遂行を確保することにあることを確認し ッ

締結について規定していることを考慮し、

次のとおり協定した。

第 条 用 語

PREAMBLE

The States Parties to this Protocol

Considering that paragraph (c) of Article XV of the Agreement relating to the International Telecommunications Satellite Organization (INTELSAT) provides that each Party, including the Party in whose territory the heauquarters of INTELSAT is jocated, shall grant appropriate privileges, exemptions and immunities;

Considering that INTELSAT has concluded a Headquarters Agreement with the Government of the United States of America, which entered into force on 24 November 1976;

Considering that paragraph (c) of Article XV of the Agreement relating to INTELSAT provides for the conclusion by the Parties, other than the one in whose territory the INTELSAT Headquarters is located, of a Protocol covering privileges, exemptions and immunities;

Affirming that the purpose of the privileges, exemptions and immunities covered by this Protocol is to ensure the efficient performance of the functions of INTELSAT;

HAVE AGREED as follows:

Use of Terms ARTICLE 1

六四

ンテルサット 特権免除議定書

語

この議定書の適用上

- いう。 構(インテルサット)に関する協定(附属書を含む。)を構(インテルサット)に関する協定(附属書を含む。)をで政府による署名のために開放された国際電気通信衛星機()「協定」とは、千九百七十一年八月二十日にワシントン
- (C) 「インテルサット協定」とは、A)に規定する協定及び(b) のために開放された協定(附属書を含む。)をいう。トンで政府又は政府の指定した電気通信事業体による署名(b) 「運用協定」とは、千九百七十一年八月二十日にワシン
- ぱ 「 インテルサット加盟国 」とは、自国について協定の効に規定する運用協定をいう 。

力が生じている国をいう。

- をいう。 であつて、自己について運用協定の効力が生じているものであつて、自己について運用協定の効力が生じているもの盟国又はインテルサット加盟国の指定した電気通信事業体() 「インテルサット署名当事者」とは、インテルサット加
- (f) ているインテ 締約 国 とは ル サ ·y ٢ 自 加 玉 に 国をいう。 ついてこの議定書の効 力が生じ
- (g) テ 長並びにインテル ĺ 「インテル サ ッ の 1 の 定の サ 部 内 " 任 の サ \vdash 役務に従事する者を除く 期を有する職員をいう。 ッ 0 ٢ 職 事 員」とは、 務局 の 常 勤 インテル 職員で恒 ただし、イン サ |久職 ッ ۲ 員及び 事 務局

For the purposes of this Protocol:

ê

- "Agreement" means the Agreement Relating to the International Telecommunications Satellite Organization (INTELEAT), including its Annexes, opened for signature by Governments at Washington on August 20, 1971;
- (b) "Operating Agreement" means the agreement, including its Annex, opened for signature at Washington on August 20, 1971, by Governments or telecommunications entities designated by Governments;
- "INTELSAT Agreements" means the Agreement and the Operating Agreement referred to in (a) and (b) above;

<u>0</u>

- (d) "INTELSAT Party" means a State for which the Agreement is in force;
- (e) "INTELSAT Signatory" means an INTELSAT Party, or the telecommunications entity designated by an INTELSAT Party, for which the Operating Agreement is in f(rce;
- (f) "Contracting Party" means an INTELSAT Party for which this Protocol has entered into force;
- (g) "Staff members of INTELSAT" means the Director General and those staff members of the Executive Organ holding regular or fixed-term appointments for a minimum of one year and who are employed on a full-time basis within the Organization, other than persons in the domestic service of INTELSAT;

インテルサットの文書は、

所在地のいかんを問わず不可侵と

する。

第三条 裁判権からの免除及び強制執行の免除

1 だし、次のものについては、この限りでない 囲内で、裁判権からの免除及び強制 インテルサットは、インテルサ 'n ۲ 執行の 協定の認める活動 免除を受ける。 の 範

- 3 of INTELSAT Parties and in each case means need of delegations, their alternates and advisers; "Representatives of Parties" means representatives of INTELSAT Parties and in each case means heads
- Ξ "Representatives of Signatories" means represent-atives of INTELSAT Signatories and in each case advisers; means heads of delegations, their alternates and

(i)

を代表する者で、代表団の長、

(h)

加盟国

の代表

」とは、インテルサ

ット

加盟国を代表す

る者で、代表団の長、その代理及び随員をいう

「署名当事者の代表」とは、インテルサット署名当事

者

(j)

財産」には、

所有権の設定の可能なすべてのもの(

性

その代理及び随員をいう

質のいかんを問わない

0

及び契約に基づく権利を含む。

(k)

「文書」には、インテル

ノサッ

トが所有し又は保管するす

学的及び磁気的記録物を含む。

第一章

インテルサ

ット

'n

財産及び業務

第二条

文書の不可侵

べての記録、

信書、

書類

原稿

写真、

フィルム並びに光

- ij. nature to which a right of ownership can attach, "Property" includes every subject of whatever as well as contractual rights;
- Ē "Archives" includes all records, correspondence, documents, manuscripts, photographs, films, optical and magnetic recordings belonging to or held by INTELSAT:

CHAPTER I: INTELSAT'S PROPERTY AND OPERATIONS

ARTICLE 2

Inviolability of Archives

located. The archives of INTELSAT shall be inviolable wherever

ARTICLE 3

Immunity from Jurisdiction and Execution

٠ Within the scope of its activities authorized by the INTELSAT Agreements, INTELSAT shall have immunity from jurisdiction and immunity from execution except:

- (a) は強制執行 イ ーンテ ・ルサ あ 免除を放棄した特定の ット事務局長が明示的に裁判権からの免除又 事例
- (b) 商業活動
- (c) これらの自動車に係る交通犯罪 た事故による損害について第三者の提起する民事訴訟又は に運行される自動車その インテルサ ットが所有し若しくはインテルサット 他 一の輸送手段により引き起こされ のため
- (d) 司法当局の決定に基づく差押え インテルサットがその職員に支払う給料その他の給付の
- (e) れた仲裁 協定第十八条又は運用協定第二十条の規定に基づいてさ インテルサットの提起した訴訟に直接関連する反訴 判 断 の執行
- 2 わず、 インテルサ ッ ۲ の 財産は、 所在地及び占有者の l, かんを問
- (a) る。 あらゆる形式の捜索、徴発、没収及び押収を免除 さ れ
- (b) る不動産の収用については、この限りでない 公正な補償金が迅速に支払われることを条件として行われ 収用を免除される。ただし、公共の目的のため、 か
- (c) 所有し又はインテルサッ な司法上の強制を免除される。 あらゆる形式の行政上の強制及びあらゆる形式の ٢ のために運行される自動車その ただし、インテルサ /ット 定的

暫

- <u>a</u> to the extent that the Director General shall diction or immunity from execution in a particular have expressly waived such immunity from juris-
- in respect of its commercial activities;

Ĵ

- 0 or in respect of a traffic offence involving such longing to, or operated on behalf of, INTELSAT, in respect of a civil action by a third party for damage arising from an accident caused by a motor vehicle or other means of transport be-
- <u>a</u> in the event of the attachment, pursuant to a decision by the judicial authorities, of the salaries and emoluments owed by INTELSAT to a staff member;
- e with proceedings initiated by INTELSAT; or in respect of a counter-claim directly connected
- Ê award made under Article XVIII of the Agreement or Article 20 of the Operating Agreement. in respect of the enforcement of an arbitration
- The property of INTELSAT, wherever located and soever held, shall be immune: by whom-

2

- (a) and from any form of search, requisition, confiscation sequestration;
- 9 from expropriation, except that real property may be expropriated for public purposes and subject to prompt payment of fair compensation;
- <u>0</u> to, or operated on behalf of, motor vehicles or other means of transport belonging vention and investigation of accidents involving temporarily necessary in connection with the prefrom any form of administrative or provisional constraint, except insofar as may be INTELSAT

に必要とされる強制については、この限りでない。 他の輸送手段に係る事故の防止及び調査に関連して一時的

第四条 財政及び関税に関する規定

対するすべての直接国税を免除される。める活動の範囲内で、所得に対するすべての国税及び財産に1.インテルサット及びその財産は、インテルサット協定の認

とる。

この価格がこれらの価格に通常含められる税を含む場合には、当該税を課する締約国は、当該税の額に相当する額をイは、当該税を課する締約国は、当該税の額に相当する額を不らの価格がこれらの価格に通常含められる税を含む場合に使用するため打ち上げられるもの並びにその構成部分及び部2.インテルサットの購入する電気通信衛星で世界衛星組織に2.インテルサットの購入する電気通信衛星で世界衛星組織に

めすべての適当な措置をとるものとする。制限を免除される。締約国は、これらの通関を容易にするた輸出を理由として課される関税その他の税又は禁止若しくはられる電気通信衛星並びにその構成部分及び部品の輸入又は3 インテルサットは、世界衛星組織に使用するため打ち上げ

5 インテルサットの所有する物品であつて2又は3の規定に実上の課徴金にすぎない税については、適用しない。4 1から3までの規定は、提供された特定の役務に対する事

10164

Fiscal and Customs Provisions

Within the scope of its activities authorized by the INTELSAT agreements, INTELSAT and its property shall be exempt from all national income and direct national property taxation.

۲.

When the price of communications satellites purchased by INTELSAT and of components and parts for such satellites to be launched for use in the global system includes taxes or duties of such a nature that they are normally incorporated in such price, the Contracting Party that has levied the taxes or duties shall take appropriate measures to remit or reimburse to INTELSAT the amount of the identifiable taxes or duties.

2

INTELSAT shall be exempt from customs duties and other taxes, prohibitions or restrictions imposed by reason of the import or export of communications satellities and components and parts for such satellities to be launched for use in the global system. The Contracting Parties should take all appropriate steps to facilitate customs clearance.

۳

The provisions of paragraphs 1, 2 and 3 shall not apply to taxes or duties which are in fact no more than charges for specific services rendered.

•

Goods belonging to INTELSAT which have been exempted under paragraphs 2 or 3 shall not be transferred, hired out or lent, permanently or temporarily, except in accord-

٠.

基づく免除の適用を受けたものは、当該免除を認めた締約国

あ の るかを問わず 国内法に基づく場合を除くほか、永久的であるか一時的で 譲渡し、賃貸し又は貸与してはならない

0

ンテルサット特権免除議定書

第五条 通信

つき、 関し、 でない待遇を与えられる。 びすべての形態の電気通信に係る優先権並びに料金及び課金に 際条約並びに国際的な規則及び取極に抵触しない インテル 締約 他の非地域的な政府間機関に与えられる待遇よりも不利 国の領域におい サ ッ トは その公用通信及びすべての書類の て、 インテルサットの公用通信は かつ、当該締約国が締 限 ·り、 結した国 郵 移 動 通信 便及 13

第六条 制限

手段の

() か

んを問

わず

検閲してはならない

行われることを条件として、 める活動の範囲内で、かつ、 インテル サ ットの保持する資金は、 ij その運用が締約国の法律に従つて かなる種類 インテルサ の 管 瑾 ット 制限 協定の認 規制

又はモラトリアムによつても制限されない

ance with the domestic laws of the Contracting Party which granted the exemption.

六四六

ARTICLE 5

Communications

may be compatible with any international conventions, reg-ulations and arrangements to which that Contracting Party on mails and all forms of telecommunications, as far as organizations in the matter of priorities, rates and taxes territory of each Contracting Party treatment not less favour-able than that accorded to other intergovernmental non-regional communications of INTELSAT transfer of all its documents, INTELSAT shall enjoy in the is a party. With regard to No censorship shall be applied to official ns of INTELSAT by whatever means of communi its official communications and the means of communication.

ARTICLE 6

Restrictions

be restricted by controls, restrictions, regulations or moratoria of any kind, provided that operations involving those funds comply with the laws of the Contracting Party INTELSAT Agreements, the funds held by INTELSAT shall not Within the scope of its activities authorized by

1

第七条

- (a) トの らの免除(この免除は、当該職員がインテル ンテル 提起する民事訴訟又はこれらの自動車に係る交通犯罪でイ 段により引き起こされた事故による損害について第三者の でなくなつた後も与えられる。 インテルサットの職員は、次の特権及び免除を享受する。 書面及び口頭による陳述を含む。) についての 公的任務の遂行に当たつて権限の範囲内で行つた行 職員が所有し若しくは運転する自動車その サ " ۲ の職員によるものについては、この限りでな)。ただし、 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚ 1 ・ンテ 他 ., の輸 裁 ٢ 判 ル Ó 送手 サ)職員 権 か 動
- (b) る公的な書類 ι インテル サ の 'n 玄 ۲ 可 の 活 葠 動 Ō 範 囲 内に おける任務 の 遂行 に係
- (c) 国民的服役義務の免除
- (d) ット 便益と同 の場合の帰国について政府間 職員に通常与えられる免除と同 入国 0) 制限 職 員の の 外国人登録及び出 家族の構成員でその 便益(これらの 日機関の 免除及び便益は ___ 国手続に関 世 の免除並 |帯に属するものに対し 職員に通常与えられる がに し政 インテルサ 府 玉 際的 間 機 危 関 機 0

CHAPTER II: STAFF MEMBERS OF INTELSAT

ARTICLE

The staff members of INTELSAT shall enjoy the following privileges, exemptions and immunities:

۲

(a)

immunity from jurisdiction, even after they have left the service of INTELSAM, in respect of acts, including words written and spoken, done by them in the exercise of their official functions and within the limits of their duties. However, there shall be no immunity in respect of a civil action by a third party for damage arising from an accident caused by a motor wehicle or other means of transport belonging to or driven by them, or in respect of a traffic offence involving such a vehicle and committed by them;

inviolability for official documents and papers related to the performance of their functions within the scope of the activities of INTELSAT;

g

exemption from national service obligations;

<u>a</u> <u>c</u>

together with members of their families forming part of their households, the same immunity from restrictions on admission, alien registration and departure formalities, as well as the same repatriation facilities in time of international crisis, as are normally accorded to staff members of intergovernmental organizations;

1

ンテ

ル

サ

六四1

ても与えられる。)

- を考慮に入れる権利を留保する。
 て、インテルサットがその職員に支払う給料その他の給付源泉からの所得に対して課する税の額を計算するに当たつく。)に課される締約国の所得税の免除。締約国は、他の(インテルサットが支払う年金及びこれに類する給付を除(・インテルサットがその職員に支払う給料その他の給付)
- られる待遇と同一の待遇()通貨及び為替の管理に関し政府間機関の職員に通常与え
- (g) い、当該家具及び手回品を無税で輸出する権利 任務の終了の際に、当該締約国の法律の定める条件に従 対する支払を除く。 を含む 。) を関税その他の税関課徴金 (提供された役務に の法律の定める条件に従い、家具及び手回品 締約国の領域においてそ)の免除を受けて輸入する権利並びに の地位に就く際に 自 当 動 該締約 車 台 国
- であるかを問わず、譲渡し、賃貸し又は貸与してはならない。国の国内法に基づく場合を除くほか、永久的であるか一時的に基づく免除の適用を受けたものは、当該免除を認めた締約2.インテルサットの職員の所有する物品であつて18の規定
- 免除される。もつとも、第十二条の規定により関係締約国とは、締約国の社会保障制度に対するすべての強制的な拠出を対象となつている場合には、インテルサット及びその職員、インテルサットの職員がインテルサットの社会保障制度の

3

- (e) exemption from all national income tax on their salaries and emoluments paid to them by INTELSAT, excluding pensions and other similar benefits paid by INTELSAT. The Contracting Parties reserve the right to take those salaries and emoluments into account when assessing the amount of tax to be applied to income from other sources;
- (f) the same treatment in the matter of currency and exchange control as is normally accorded to staff members of intergovernmental organizations;
- (g) the right to import free of customs duties and other customs charges (except payment for services rendered), their furniture and personal effects, including a motor vehicle, at the time of taking up their post in the territory of a Contracting Party, and the right to export them free of duty upon termination of their functions, subject to the conditions laid down by the laws of the Contracting Party concerned.
- Goods belonging to staff members which have been exempted under paragraph [4] shall not be transferred, hired out or lent, permanently or temporarily, except in accordance with the domestic laws of the Contracting party which granted the exemption.

2.

Provided that staff members are covered by the social security scheme of INVELSAT, INVELSAT and its staff members shall be exempt from all compulsory contributions to national social security schemes, subject to agreements to be concluded with Contracting Parties concerned in accordance with Article 12. This exemption does not preclude any voluntary participation in a national social security scheme in accordance with the law of

w

ものでもない。 ものではなく、また、 はのとする。 この名の規定に基づく免除は、インテルサット の間で締結される取決めがある場合には、当該取決めによる

- にするためすべての適当な措置をとる。入国、その領域における滞在又はその領域からの出国を容易4.締約国は、インテルサットの職員について、その領域への
- 自国民又は自国に通常居住する者に与えることを義務付けら5 締約国は、10から8まで及び3に定める特権及び免除を

れない。

ついても遅滞なく通告する。
当該締約国の領域におけるいずれの職員の公的任務の終了に長は、また、1位に定める免除を認めている締約国に対し、職員の氏名を関係締約国に通告する。インテルサット事務局6 インテルサット事務局長は、この条の規定の適用を受ける

the Contracting Party concerned; neither does it require a Contracting Party to make payments of benefits under social security schemes to staff members who are exempt under the provisions of this paragraph.

Contracting Parties shall take all appropriate messures to facilitate entry into, stay in, or departure from their territories of staff members of INTELSAT.

.

The Contracting Parties shall not be obliged to accord to their nationals or permanent residents the privileges, exemptions and immunities referred to in paragraphs 1(c), (d), (e), (f) and (g) and in paragraph 3.

5

The Director General of INTELSAT shall notify the Conracting Parties concerned of the names of the staff members to whom the provisions of this Article shall apply. The Director General shall also notify without delay the Contracting Party which grants the exemption provided for under paragraph 1(d) of this Article of the completion of the official functions of any staff members in the territory of that Contracting Party.

.

1

表及び仲裁手続に参加する者第三章 インテルサット加盟国の代表、署名当事者の代

第八条

1 往 ル 複のの サ インテル '' 旅行中 ٢ 加 サ 玉 .7 ۲ 次の特権及び免除を享受する。 |の代表は、その任務の遂行中及び会合地 が招集し又は主催する会合におけるインテ 0)

(a) られる らの免除 訟又はこれらの こされた事故による損害について第三者の し若しくは運転する自動車その 書面及び口頭による陳述を含む。 国の代表によるものについては 公的 0 任 務 (この免除は、 0 の ただし、インテ 遂行に当たつて権限の範囲内で行 自動車に係る交通犯罪でインテル 当該代表の任務の終了 í 他 サ 0 ッ 輸送手 ۲)につい 加盟 0) 限 段に 提起する民 E りでな 0 7 より Ō 代表が 0) サ 後 裁 つ 引き起 ŧ .,, 判 与え 事訴 ۲ 所 権 行 有 か 加

(b) すべての公的な書類の不可侵

(c) 該代表の家族の構成員でその世帯に属するも 与えられる。 職員に通常与えられる免除と同 居 住する者にこの 入国制限 外国人登録及び出国手続に関 (C)の規定を適用することを義務付けられ ただし ずれ の締 の免除 約国も \hat{z} し政府 の の 免 自 間機 国 対 除 L は こても 通 関 ` 当 0

CHAPTER III: REPRESENTATIVES OF INTELSAT PARTIES AND SIGNATORIES AND PERSONS PARTICIPATING IN ARBITRATION PROCEEDINGS

TICLE

Representatives of INTELSAT Parties at meetings called by or held under the auspices of INTELSAT shall, in the exercise of their functions, and during their journeys to and from the place of meeting, enjoy the following privileges and immunities:

:

(a) immunity from jurisdiction, even after termination of their mission, in respect of acts, including words written and spoken, done by them in the exercise of their official functions and within the limits of their duties. However, there shall be no immunity in respect of a civil action by a third party for damage arising from an accident caused by a motor vehicle or other means of transport belonging to or driven by them, or in respect of a traffic offence involving such a vehicle and committed by them;

inviolability for all their official documents and papers;

together with members of their families forming part of their households, the same immunity from restrictions on admission, alien registration and departure formalities as is normally accorded to staff members of intergovernmental organizations; provided that no Contracting Party shall be obliged to apply this provision to its permanent residents.

- 事者の代表は、その任務の遂行中及び会合地への往復の旅行2 インテルサットが招集し又は主催する会合における署名当
- a.インテルサットの活動の範囲内における任務の遂行に係中、次の特権及び免除を享受する。

る公的な書類の不可侵

- (b) 該代表の家族の構成員でその世帯に属するものに対 職員に通常与えられる免除と同一の免除 居住する者にこの心の規定を適用することを義務付けられ 与えられる。)。ただし、いずれの締約国も、 入国制限、外国人登録及び出国手続に関 この し政 免除 府間 自 国 は 機 一に通常 しても 関の 当
- らにまでに定める特権及び免除を享受する。は、その任務の遂行中及び会合地への往復の旅行中、1個か協定の附属書Cに従つて行われる仲裁手続に参加するもの3 仲裁裁判所の仲裁人及び仲裁裁判所から召喚される証人で

۳

民又は自国の代表に与えることを義務付けられない。 4 いずれの締約国も、1及び2に定める特権及び免除を自国

Representatives of Signatories at meetings called by or held under the auspices of INTEGAT shall, in the exercise of their functions, and during their journeys to and from the place of meeting, enjoy the following privileges and immunities:

2

- (a) inviolability for official documents and paper related to the performance of their functions within the scope of the activities of INTELSAT;
- (b) together with members of their families forming part of their households, the same immunity from restrictions on admission, alien registration and departure formalities as is normally accorded to staff members of intergovernmental organizations; provided that no Contracting Party shall be obliged to apply this provision to its permanent residents.
- The members of an arbitral tribunal and witnesses before that tribunal participating in arbitration proceedings in accordance with Annex C of the Agreement shall, in the exercise of their functions, and during their journeys to and from the place of meeting, enjoy the privileges and immunities referred to in paragraphs 1(a), (b) and (c).

 No Contracting Party shall be obliged to accord to
- No Contracting Party shall be obliged to accord to its own nationals or to its own representatives the privileges and immunities referred to in paragraphs 1 and 2.

٠.

第四章 放棄

第 九条

ために与えられるものではない。これらの特権及び免除 この議定書に定める特権及び免除は、 個人の一身上の 便 が 正 宜 義 0

特権及び免除を放棄することに同意しなければならない することができる場合には、次に掲げる締約国等は、これらの (a) Ú 締約国の代表及び締約国の指定した署名当事者の代表に ては、当該締約国

の能率的な遂行を害することなくこれらの特権及び免除を放棄 の実現を阻害するおそれがあり、かつ、インテルサット

の

任務

(b) 事会 インテルサット事務局長については、インテルサ '' F 理

(c) インテルサット及びその職員(インテルサ ッ 1 事 務局 長

を除く。)については、インテルサット事務局

(d) は 仲裁手続に参加する者で前条3に規定するものについ インテルサット理事会 7

CHAPTER IV: WAIVER

ARTICLE 9

for in this Protocol are not granted for the personal benefit of individuals. If such privileges, exemptions and immunities are likely to impede the course of justice, and in all cases where they may be waived without prejudice to the efficient performance of the functions of NTELSAT, the authorities set forth below shall agree to waive such privileges, exemptions immunities: The privileges, exemptions and immunities provided

- 9 representatives representatives and the representatives of their
- 9 General of INTELSAT; the Board of Governors, with respect to the Director
- <u>0</u> the Director General of INTELSAT, with respect to INTELSAT and the other staff members;
- ā the Board of Governors, with respect to the persons participating in arbitration proceedings referred to in paragraph 3 of Atticle 8.

予防措置

予防措置

第五章

般規定

権利を留保する。 締約国は、 その 安全保障のために必要なすべての措置をとる

第十一 条 締約国との協力

L る特権及び免除の濫用を防止するため、 、関係締約国の法令の遵守を確保し並びにこの議定書に定め インテルサット及びその職員は、裁判の正当な運営を容易に 関係締約国の権限のあ

第十二条 補足取決め

る当局と常に協力する。

を確保するための他の取決めを締結することができる。 の 適用に関する補足取決め及びインテルサットの能率的な運営 インテルサットは、 締約国と、 当該締約国によるこの議定書

CHAPTER V: GENERAL PROVISIONS

ARTICLE 10

Precautionary Measures

Each Contracting Party reserves the right to take all necessary measures in the interests of its security.

ARTICLE 11

Co-operation with the Contracting Parties

istration of justice, to ensure the observance of the laws and regulations of the Contracting Parties concerned and to prevent any abuse of the privileges, exemptions and immun-Parties concerned, in order to facilitate the proper adminall times with the competent authorities of the Contracting ities provided for in this Protocol. INTELSAT and its staff members shall co-operate at

ARTICLE 12

Complementary Arrangements

INTELSAY may conclude with one or more Contracting Parties complementary arrangements to give effect to the provisions of this Protocol as regards such Contracting Party or Contracting Parties, and other arrangements to ensure the efficient functioning of INTELSAY.

第十三条 紛争の解決

は、 六十 る。当該二人の仲裁人の選定の日(いずれか遅い方の日)から 長となる第三の仲裁人は、最初の二人の仲裁人により選定され 告を行つた時から六十日以内に一人の仲裁人を選定する。 仲裁裁判所に最終的決定のため付託する。紛争の各当事者は れた方法によつて解決されないものは、三人の仲裁人から成る との間又は締約国相互の間の紛争であつて交渉又は他の合意さ 一方の当事者が他方の当事者に当該紛争を仲裁に付する旨の この議定書の解釈又は適用に関するインテルサットと締約国 第三の仲裁人は 日以内に第三の仲裁人について合意が得られない場合に 国際連合事務総長によつて選定される。 裁判 通

第六章 最終規定

第十四条

署名、 加、入批

1 ておく。 ル インテルサット加盟国を除く 。 サット加盟国(インテルサットの本部が領域内に所在する この議定書は、千九百七十八年十一月二十日まで、インテ)による署名のために開放し

2

この議定書は、

批准され、受諾され又は承認されなければ

六五四

Settlement of Disputes

fail to agree upon the third within sixty (60) days of the date of the appointment of the second arbitrator, the third parties to the dispute within sixty (60) days of the notifica-tion by one party to the other of its intention to refer the dispute to arbitration. The third arbitrator, who shall be chasiman of the tribunal, shall be chosen by the first two arbitrators. Should the first two arbitrators. One of these arbitrators shall be chosen by each of the negotiation or by some other agreed method shall be referred or between Contracting Parties concerning the interpretation or application of this Protocol which is not settled by arbitrator shall be chosen by the Secretary General of the for final decision to a tribunal of three arbitrators. Any dispute between INTELSAT and a Contracting Party

FINAL PROVISIONS

This Protocol shall be open for signature until 20 November 1978 by INTELSAT Parties other than the Party in whose territory the headquarters is located.

۳

١

3 加入のために開放しておく。加入書は、 務局長に寄託する。 この議定書は、 1 に規 定するインテル インテルサッ サ ッ ٢ 加 盟 玉 ٢ に よる 事

ならない。批准書、受諾書又は承認書は、

インテルサッ

۲

事

유 e

第十五条

局長に寄託する。

٢ 保の撤回は、当該声明に別段の指定がない限り、インテルサ ても留保を付することができる。 又は加入書を寄託する際に、この議定書のいずれの規定に 局長にあてた声明により、いつでも撤回することができる。 事務局長が当該声明を受領した時に効力を生ずる。 い ずれのインテルサッ 加盟国も、 留保は、インテルサッ 批准 書 受諾書 承認書 ٢ 事 つ 留 務 ッ U

2 1 託された日の後三十日目の日に効力を生ずる。 国については、その批准書、 入書が寄託された後に批准し 入書が寄託された日の後三十日目の日に効力を生ずる。 この議定書は、 この議定書は、十二番目の批准書、受諾書、承認書又は加 十二番目の批准書、受諾書、 受諾書、承認書又は 、受諾し、承認し又は加入する 承認書又は 加入書が寄 加

approval shall be deposited with the Director General INTELSAT.

This Protocol shall be open for accession by the INTELSAT Parties referred to in paragraph 1 of this Article. Instruments of accession shall be deposited with the Director General of INTELSAT.

務

۳

Instrument of ratification, acceptance, approval or accession, make reservations to any provision of this Protocol. Reservations may be withdrawn at any time by a statement to that effect addressed to the Director General of INTELSAT. Unless the statement indicates otherwise, a withdrawal shall take effect upon its receipt by the Director General. Any INTELSAT Party may, at the time of depositing its

This Protogol shall enter into force on the thirtieth day after the date of deposit of the twelfth instrument of ratification, acceptance, approval or accession.

۳

۲

For each State ratifying, accepting, approving or acceding to this Protocol after the deposit of the twelfth instrument of ratification, acceptance, approval or accession, this Protocol shall enter into force on the thirtieth day after that State shall have deposited its instrument of ratification, acceptance, approval or accession.

六五六

第十七条

1 この議定書は、協定が失効する時まで効力を有する。

日の後六箇月で効力を生ずる。できる。廃棄は、インテルサット事務局長が通告を受領したによる通告を行うことにより、この議定書を廃棄することが2」いずれの締約国も、インテルサット事務局長に対して書面

は、この議定書を廃棄したものとみなす。より協定から脱退した場合には、当該インテルサット加盟国3.いずれかのインテルサット加盟国が協定第十六条の規定に

第十八名

他のすべての通告を通報する。の寄託、この議定書の効力発生の日及びこの議定書に関するしたすべての国に対し、批准書、受諾書、承認書又は加入書1.インテルサット事務局長は、この議定書に署名し又は加入

登録 録告 及び

際連合事務局に登録する。きは、国際連合憲章第百二条の規定により、この議定書を国

2

インテルサ

ット

事務局長は、この議定書が効力を生じたと

の議定書の原本は、インテルサット事務局長に寄託するもの3 英語、フランス語及びスペイン語をひとしく正文とするこ

ARTICLE 17

This Protocol shall remain in force until the expiry of the Agreement.

Any Contracting Party may denounce this Protocol by giving written motice to the Director General of INTELSAT. Such denunciation shall become effective six months after the date of receipt of the notice by the Director General of INTELSAT.

۰.

Withdrawal from the Agreement by any INTELSAT Party, in accordance with the provisions of Article XVI of the Agreement, shall imply denunciation by that State of this Protocol.

۳

ARTICLE 18

The Director General of INTEGAT shall notify all States which have signed, or acceded to, this Protocol of the deposit of each instrument of ratification, acceptance, approval or accession, of the entry into force of this Protocol and of any other communications relating to this Protocol.

- Upon entry into force of this Protocol, the Director General of IMTELSAM shall register it with the Secretariat of the United Nations in accordance with Article 102 of the Charter of the United Nations.
- 3. The original copy of this Protocol, of which the English, French and Spanish texts are equally authentic, shall be deposited with the Director General of INTELSAT, who shall transmit certified copies of the texts to INTELSAT Parties.

サット加盟国に送付する。とし、インテルサット事務局長は、その認証謄本をインテル

に委任を受けてこの議定書に署名した。 以上の証拠として、下名の全権委員は、各自の政府から正当

千九百七十八年五月十九日にワシントンで作成した。

考)

In witness whereof the undersigned Plenipotentiaries, duly authorized by their respective Governments, have signed this Protocol.

Done at Washington, on the 19th day of May 1978.

テル く国際的に電気通信業務を提供しているインテルサットの任務の能率的な逐行を確保するため、 ルサット)の主な加盟国により、 との議定書は、 サット、 その職員、 昭和四十八年二月に恒久的な機関として作成された国際電気通信衛星機構 インテルサット加盟国の代表等が享受する、特権及び免除について定めてい 昭和五十三年五月十九日にワシントンで作成されたものであり、 (インテ イン

る。

インテルサット特権免除議定書